

第1・2学年 国語科学習指導案

日時 平成18年9月8日(金)5校時
児童 1年生 女子1名
2年生 男子1名 計2名
授業者 高橋 縁

1 単元名(教材名)

第1学年 くらべてよもう「じどう車くらべ」

第2学年 だいじなところに気をつけて読もう「サンゴの海の生きものたち」

2 単元について

(1) 教材観

1・2年生の読むことの目標は、「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付きながら読むことができるようにするとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。」である。

この目標を受けて、第1学年の教材「じどう車くらべ」では、「説明の順序や内容を考えながら読むこと」がねらいである。本教材では、「話題・問題提起 問題に対する説明」を自動車の「しごと」と「つくり」という二つの事柄の因果関係で述べる形を取っている。「しごと」と「つくり」が同じ順序で繰り返し説明される構成になっているため、児童は説明の順序に気をつけることで、問いかけの文に沿って答えを見つけていくことができる。また、3種類の自動車について読み取ることで、「つくり」を比較しながら、より内容の理解をすることができる教材である。

第2学年の教材「サンゴの海の生きものたち」では、「書かれている事柄の順序を考えながら、大事なところに気をつけて読むこと」がねらいである。本教材は、生き物の違いに応じた共生関係を説明した文章である。1学期に学習した「たんぼぼのちえ」よりも、読み取る対象物が増え、説明の仕方も複雑になっている。そのため、生き物のかかわり合いを読み取るために大事なところに気をつけて読むことが大切になってくる。そこで、第1段落の「たがいに、やく立つように」の言葉をキーワードにすることで、それぞれの生き物の「体のしくみ」や「特徴」、「どのようにかかわり合っているのか」を読み取っていくことができる。また、「はじめ(問題提示)」「中(具体例1・具体例2)」「おわり(まとめ)」という説明文の典型的な文章の構成であるので、3年生の説明文の読み取りにつなげていくことができる。さらに、児童が「共生」というテーマに触れることで、他の生き物への関心をもち、説明文を読む楽しさを感じることができる教材であると考えられる。

(2) 児童観

1年生児童は、「いろいろなくちばし」で、説明されている事柄を正確に読み取ることを学ぶとともに、説明文の基本的なパターンである「問い 答え」と、その文型を学んだ。しかし、まだ、いろいろな場面で、「問い 答え」を書いたり話したりするなどの表現をすることは難しい。もっと、「問い 答え」の文章にふれ、慣れていくことで、2年生、3年生の説明文の学習につながっていくと思われる。また、「いろいろなくちばし」では、「ながい」「みじかい」「ふとい」「ほそい」など、言葉の比較をしながら、くちばしの特徴を読み取り、内容を理解することができた。しかし、言葉に着目して想像を膨らませたり内容をよく考えたりする力は十分ついていない。

2年生児童は、「たんぼぼのちえ」で、時間的な順序に気をつけて読むことを学習してきた。また、「それは～からです。」などの言葉に着目して、たんぼぼの様子とそのわけを読み取ることができた。まだ、叙述に即して内容を考える力は十分とはいえないが、具体的に書かれている様子を考えることはできるようになってきている。しかし、3年生の説明文の学習につなげるためには、中心的な文(大事なところ)を押さえて、内容を読む力が必要である。

(3) 指導観

第1学年の指導では、自動車図鑑を作る(自分で説明文を書く)ことを意識させることで、説明の順序に気をつけて内容を読み取る力をつけたい。

第1次では、教材文を読み取る意欲をもたせるために、表紙と目次を見せながら自動車の図鑑を作ることを知らせる。

第2次では、内容を正確に読み取らせるために、音読を意図的に入れて、言葉に着目させる。「しごとをしています。」「つくってあります。」などの言葉を読み取りの視点として、「しごと」と「つくり」を読

み取らせる。その上で、3種類の自動車の「仕事」と「つくり」を比較させながら、内容を読み取るようにする。また、教科書に線を引かせながら、どのような順序で説明されているかを押さえ、図鑑作りに生かせるようする。

第3次では、書く活動につなげるために、本を紹介したり、ビデオを見せたりして、いろいろな自動車の「しごと」と「つくり」を知らせる。

第2学年の指導では、「だいじなところにきをつけて」というリード文を通して意識させることで、大事な言葉に着目して内容を読む力をつけたい。

第1次では、「だいじなところに気をつける」とは、「どのような魚たちか」「どのようにやくに立っているのか(どのようないいことがあるか)に気をつける」ことであることを意識させるために、第1段落のキーワード「やくに立つ」を押さえる。また、読み取りの後には、海の生き物図鑑を作ることを知らせ、教材文や本を読む意欲をもたせたい。

第2次では、「どのようないいことがあるか」を視点として、読み取らせることで、だいじなところを押さえさせる。つまりいた時には、言葉に着目させながら正確に読み取ることができるように、音読をさせる。

第3次では、だいじなところに気をつけてまとめられるように、本の中から、その他の海の生き物の「特徴」と「くらしの様子」をカードにまとめさせる。

3 単元の目標と評価規準

1年生

目標	書かれている事柄や順序を考えながら内容の大体を読む。
関心・意欲・態度	知的興味を通じて、国語学習への興味・関心を高める。
読むこと	説明の順序や内容を考えながら読む。 問いかけ・説明の語や文のまとまりを考えながら、声に出して読む。
言語事項	文の主語・述語のつながりを確かめながら読む。

2年生

目標	書かれている内容に関心をもち、順序や事柄を考えながら読む。
関心・意欲・態度	書かれている内容に関心をもち、進んで読もうとしている。
読むこと	書かれている事柄の順序を考えながら、大事なところに気をつけて読む。 語や文のまとまりや内容、言葉の響きなどについて考えながら声に出して読む。
言語事項	片仮名を読んだり書いたりし、片仮名で書く語を文や文章の中で使う。

4 指導計画

1年生(8時間)

第1次	学習計画を立てる。(計2時間) 教師の範読を聞く。 知っている自動車の名前を挙げ、どんな自動車があるか考える。 自動車図鑑を作ることを知り、作り方を理解する。 音読、新出漢字の練習をする。
第2次	挿絵を手がかりにしながら、「じどう車くらべ」の内容を読み取る。(計3時間) バスと乗用車の「しごと」と「つくり」を読み取る。 トラックの「しごと」と「つくり」を読み取る。 クレーン車の「しごと」と「つくり」を読み取る。(本時)
第3次	自動車図鑑を作る。(計3時間) 学級文庫や図書室で自動車の本を探して読む。 好きな自動車を選び、「しごと」と「つくり」を確かめる。 下書きをし、カードに清書し、挿絵を添える。

	できあがった図鑑を2年生と読み合う。
--	--------------------

2年生（8時間）

第1次	<p>単元全体を見通し、学習計画を立てる。（計2時間）</p> <p>題名から書かれている内容を予想する。</p> <p>全文を読み、初めの感想を書く。</p> <p>新出漢字を練習する。難しい語句の意味を調べる。</p> <p>形式段落を意味段落にまとめ、課題を作る。</p>
第2次	<p>問いかけの文の答えを探しながら、海の生き物のかかわり合いを読み取る。（計3時間）</p> <p>クマノミとイソギンチャクの体の仕組みを読み取る。</p> <p>クマノミとイソギンチャクのかかわり合いを読み取る。</p> <p>ホンソメワケベラについて読み取る。（本時）</p>
第3次	<p>海の生き物図鑑を作る。（計3時間）</p> <p>学級文庫や図書館で海の本をさがして読む。</p> <p>読み取ったことをカードにまとめる。</p> <p>できあがった図鑑を1年生と読み合う</p>

5 本時の指導

(1) 目標と評価規準

1年生

目 標		
クレーン車の「しごと」と「つくり」を読み取る。		
評価規準	具体の評価規準	
クレーン車の「しごと」と「つくり」を説明することができる。	十分満足	おおむね満足
	クレーン車の「しごと」と「つくり」を動作で示したり、絵に言葉を書き込んだりすることができる。	クレーン車の「しごと」と「つくり」が書いてある文を見つけることができる。

2年生

目 標		
ホンソメワケベラと大きな魚たちのかかわり合いを大事なところに気を付けながら読み取る。		
評価規準	具体の評価規準	
ホンソメワケベラにとって、また、大きな魚にとって良いことを読み取ることができる。	十分満足	おおむね満足
	ホンソメワケベラと、大きな魚にとって良いことを自分の言葉で書きまとめることができる。	ホンソメワケベラにと、大きな魚にとって良いことが書かれている文を選ぶことができる。

(2) 子供の実態と支援

(読)「読むこと」書かれている事柄の順序や様子に気付きながら読み取る力

児童	R(1年) (読)	K(2年) (読)
実態	<p>挿絵をもとに、クレーン車の「しごと」と「つくり」を捉えることができると思われる。しかし、「おもいもの」とはどのようなものか、「のびたり、うごいたりする」というのはどういうことか、「しゃたい」とはなにかなど、一つ一つの言葉に着目して考えることは、難しいであろう。</p>	<p>ホンソメワケベラが大きな魚たちに、何をするのか、また、大きな魚たちからとった虫がホンソメワケベラの食べ物になっているということは、捉えることができると思われる。さらに、「～からです。」という理由を表す言葉に着目する力や、書かれている言葉から、様子を想像する力を付けていく必要がある。</p>
支援	<p>学習活動の際には、できるだけ一緒に読み取るようにして、指示をする。音読をさせて言葉に着目させる。</p>	<p>こまめに渡りながら、活動の評価をし、指示をする。書かれている事柄をもとに内容を考えられるように、音読をさせながら読み取らせる。</p>

(3) 展開

学年	1 学年		
段階	指導上の留意点	学習活動(主発問)	形式
つかむ (八分)	<ul style="list-style-type: none"> ・正しく読むために、つれ読みをする。 ・クレーン車の挿絵を用意しておく。 	<p>前時に学習したことを確かめ、本時に学習する段落を音読する。 課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>クレーン車のしごととつくりをしらべよう。</p> </div>	
しらべる (十七分)	<ul style="list-style-type: none"> ・読み取りの視点 「しごとをしています。」 「つくってあります。」「ついています。」 ・教科書のどこに書いてあるかを確かめ、線を引かせる。 ・言葉を動作化させることで、クレーンの動きを想像することができるようにする。 ・教師が気付かせたい言葉を別の言葉に変えて音読したり、板書の言葉をかくして音読させたりして気付かせる。発問されたことに児童がつまづいた時には、<u>音読</u>をさせて気付かせる。 	<p>学習課題に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クレーン車の「しごと」と「つくり」がどこに書かれているのかを確かめて線を引く。 <p>「つりあげる」というのは、どうすることですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クレーン車の「しごと」を読み取る。 <p>のびたり、うごいたりするというのは、どうすることでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クレーン車の「つくり」を読み取る。 	
たしかめる (十五分)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図鑑用のカードに「しごと」と「つくり」を視写させる。 ・ 正しく書いているかどうかを、トレーシングペーパーを使って自分で確かめさせる。 ・ 「しゃたい」「うで」「あし」など、教科書の言葉を絵に書き込むように指示する。 	<p>解決した内容を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ クレーン車の「しごと」と「つくり」を視写し、調べたことをまとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>クレーン車 しごと おもいものをつりあげる しごとをしています。</p> <p>つくり じょうぶなうでがのびたり、うごいたりするようにつくってあります。 しっかりしたあしがついています。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 絵に書き込みをする。 ・ プリントを音読し、書いたものを確かめる。 	
まとめる (五分)	<ul style="list-style-type: none"> ・ まとめの音読をするための練習をさせる。 ・ 良いところを褒める。 (姿勢、口形、発音、語や文のまとまり) 	<p>学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習した段落を音読する。 ・ 2年生の音読を聞いて、感想を発表する。 	

2 学年			学年
形式	学習活動（主発問）	指導上の留意点	段階
	<p>本時の学習する段落を音読する。</p> <p>課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>大きな魚たちとホンソメワケベラはどんなかかわり合いをしているのか調べよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 自分で段落を音読させ、学習する段落を確かめさせる。 	つかむ（八分）
	<p>学習課題に取り組む。</p> <p>ホンソメワケベラは、どのくらいの大きさですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ホンソメワケベラの体の特徴を読み取る。 <p>大きな魚は、どうしてホンソメワケベラを食べないのでしょうか。ホンソメワケベラは、どうしてそうじをするのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 段落を音読し、ホンソメワケベラと大きな魚たちがかかわり合っているわけが書かれている文に線を引く。 見つけた文を視写する。 	<ul style="list-style-type: none"> 読み取りの視点 「なぜ大きな魚たちは、ホンソメワケベラを食べないのか」 「なぜホンソメワケベラは、そうじをするのか」 視点について書かれている文に線を引かせ、教師が確かめてから視写させる。 	しらべる（十七分）
	<p>解決した内容を確認する。</p> <p>どうして大きな魚たちは、ホンソメワケベラを食べないのですか。どうしてホンソメワケベラはそうじをするのですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 視写した文を音読する。 どんなかかわり合いをしているのかを確認する。 ホンソメワケベラと大きな魚たちの会話を考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>大きな魚たちは、体をきれいにしている。 （きもちいいな） ホンソメワケベラは、とった虫をえさにしている。 （おなかがいっぱい。）</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ホンソメワケベラと大きな魚たちのことを自分の言葉でまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 視写した文をゆっくり音読させて、書かれている言葉と向き合わせる。 「わけ」が書いてある文を探すときには、「～からです。」や「～のです。」という言葉が手がかりになることを確かめる。 きれいにをしてもらった大きな魚たちと、とった虫を食べるホンソメワケベラの気持ちを考えさせる。 ホンソメワケベラと大きな魚との会話を考えさせる。 	たしかめる（十五分）
	<p>学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習した段落を音読する。 1年生の音読を聞いて、感想を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> まとめの音読をするための練習をさせる 良いところをほめる。 （姿勢、口形、発音、語や文のまとまり） 	まとめる（五分）

